

議案 番号	8	資料 番号	1
下水道課			



令和 8 年度 燕市下水道事業会計当初予算の概要

新潟県燕市



●業務の予定量（第2条）

区 分	令和8年度	令和7年度	比 較	
(1) 年 間 有 収 水 量	3,543,031 m ³	3,434,328 m ³	108,703 m ³	3.2 %
(2) 一 日 平 均 有 収 水 量	9,707 m ³	9,409 m ³	298 m ³	3.2 %
(3) 主 要 な 建 設 改 良 事 業	1,635,500 千円	1,475,800 千円	159,700 千円	10.8 %
公共下水道の整備(未普及対策)事業	1,628,000 千円	1,388,000 千円	240,000 千円	17.3 %
本町排水区(合流)管路施設改築更新事業	7,500 千円	12,500 千円	▲ 5,000 千円	▲ 40.0 %
下水終末処理場施設改築更新事業	—	75,300 千円	▲ 75,300 千円	皆減

●収益的収入及び支出（第3条）

【収 入】

年 度 款 項	令和8年度		令和7年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 下水道事業収益	2,357,815	100.0	2,170,226	100.0
第1項 営業収益	919,924	39.0	809,179	37.3
第2項 営業外収益	1,437,890	61.0	1,361,046	62.7
第3項 特別利益	1	0.0	1	0.0

【支 出】

年 度 款 項	令和8年度		令和7年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 下水道事業費用	2,286,300	100.0	2,151,947	100.0
第1項 営業費用	1,990,917	87.1	1,898,713	88.3
第2項 営業外費用	294,483	12.9	252,334	11.7
第3項 特別損失	100	0.0	100	0.0
第4項 予備費	800	0.0	800	0.0

●資本的収入及び支出（第4条）

【収 入】

年 度 款 項	令和8年度		令和7年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 資本的収入	2,966,923	100.0	2,755,150	100.0
第1項 企業債	2,219,804	74.9	1,992,610	72.3
第2項 他会計負担金	68,883	2.3	72,276	2.6
第3項 他会計補助金	63,158	2.1	145,231	5.3
第4項 国県補助金	600,000	20.2	520,750	18.9
第5項 負担金	10,078	0.3	19,283	0.7
第6項 預託金償還金	5,000	0.2	5,000	0.2

【支 出】

年 度 款 項	令和8年度		令和7年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 資本的支出	3,775,339	100.0	3,512,318	100.0
第1項 建設改良費	1,801,201	47.7	1,597,766	45.5
第2項 企業債償還金	1,969,138	52.2	1,909,552	54.4
第3項 預託金	5,000	0.1	5,000	0.1

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 8億841万6千円は、減価償却費で留保された資金などで補てんします。

<当初予算の概要>

1. 予算規模

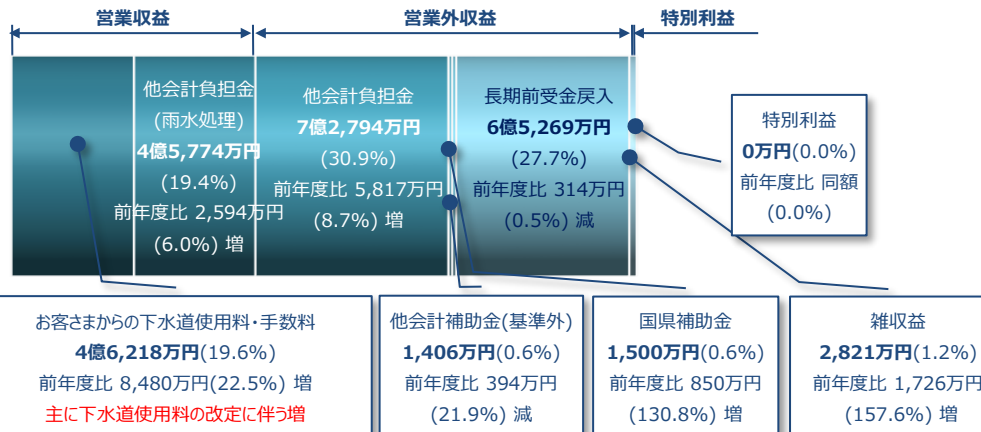
総事業費 **60 億 6,164 万円**

前年度比 3億9,737万円 (7.0%) 増

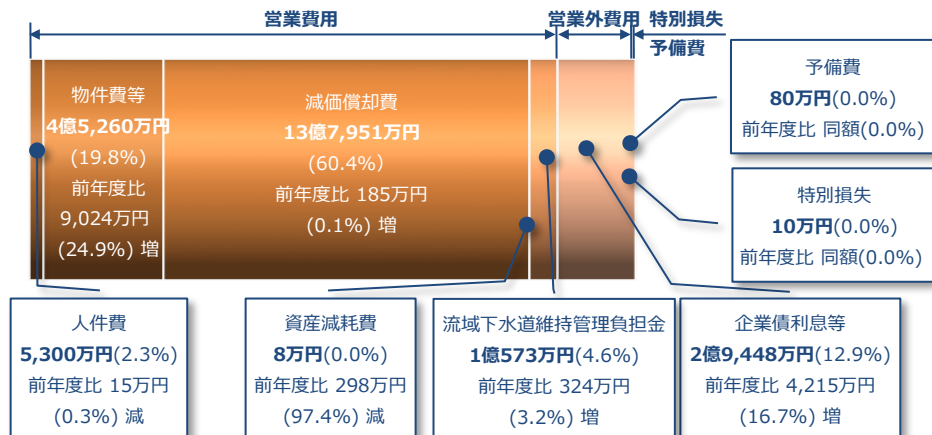
集合処理区域の未普及解消に向け、下水道管路施設の整備事業を重点に置く予算編成を行いました。なお、下水道使用料の改定に伴い前年度より収入増を見込んでおります。
※下水道使用料の改定についてはP9を参照

下水を集め、処理するための予算 (収益的収支)

収入 **23 億 5,782 万円** (下水道事業収益)
前年度比 1億8,759万円 (8.6%) 増

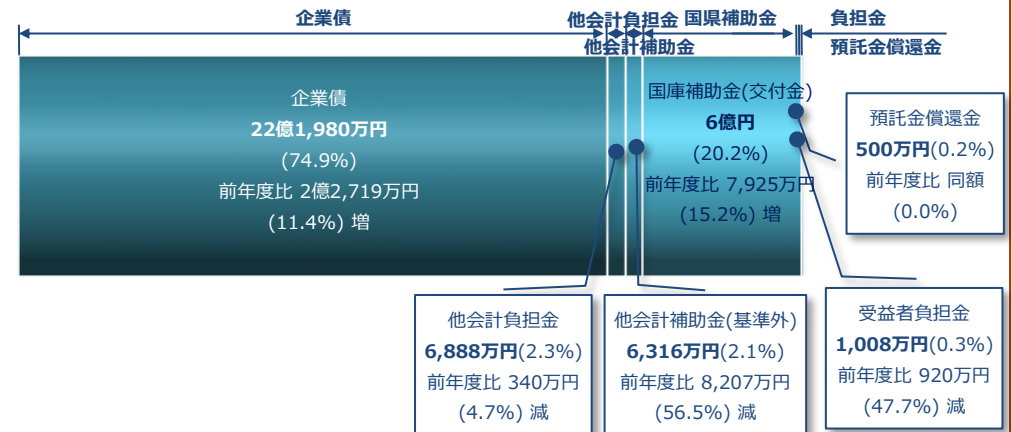


支出 **22 億 8,630 万円** (下水道事業費用)
前年度比 1億3,435万円 (6.2%) 増

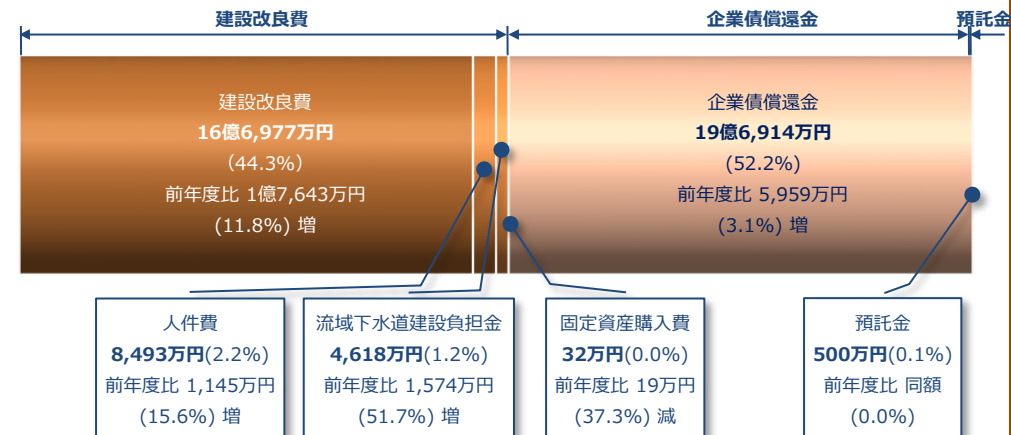


下水道施設をつくるための予算 (資本的収支)

収入 **29 億 6,692 万円** (資本的収入)
前年度比 2億1,177万円 (7.7%) 増



支出 **37 億 7,534 万円** (資本的支出)
前年度比 2億6,302万円 (7.5%) 増



※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 8億842万円は、減価償却費で留保された資金などで補てんします。

2. 主な建設事業

公共下水道の整備（未普及対策）事業

【事業期間】 令和元年度 ～ 令和10年度

燕市污水处理施設整備構想に基づき、集合処理区域として位置づけられた区域の未普及解消に向けて下水道を整備します。

予算額 **16 億 2,800 万円** 前年度比 2億4,000万円（17.3%）増
（国の社会資本整備総合交付金 6億円を活用）

【事業内容】

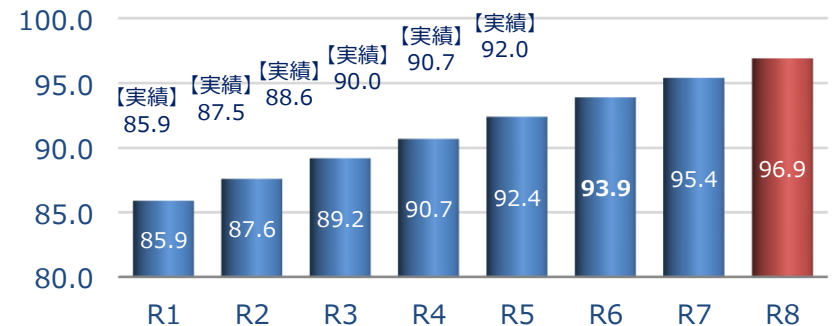
- | | |
|----------------------|-------------------|
| ● 下水道管渠工事 | 事業費
15億1,000万円 |
| ● 測量設計・積算業務委託 | 5,300万円 |
| ● 工事に伴うガス導管・水道管等移設補償 | 6,500万円 |

【前年度比較内訳】

- 下水道管渠工事費 2億700万円の増
- 測量設計業務委託 1,800万円の増
- 工事に伴うガス導管・水道管等移設補償 1,500万円の増



集合処理区域の下水道処理人口普及率(%)【目標値】



※ 下水道処理人口普及率を集合処理区域内における割合に換算した値です。
（令和10年度概成とした下水道処理人口普及率59%を集合処理区域の下水道処理人口普及率100%に換算しています。）

本町排水区（合流）管路施設改築更新事業

【事業期間】 平成26年度 ～ 令和10年度

下水道管路の全国特別重点調査対象区間において、改修工事を実施するため測量設計業務委託を行います。

予算額 **750 万円** 前年度比 500万円（40.0%）減

【事業内容】

- 本町排水区（合流）管渠更生測量設計業務委託（延長 12m）

事業費

750万円

【前年度比較内訳】

- 本町排水区（合流）管渠更生測量設計業務委託 500万円の減



3. 下水終末処理場のし尿受入整備

し尿等受入に伴う下水終末処理場施設整備事業

【事業期間】 令和5年度 ～ 令和13年度

し尿等受入施設と下水終末処理場施設の整備を合理的かつ一体的に進めるための基本計画を策定します。

予算額 **2,750 万円** （総事業費：4,000万円（下水道事業会計予算 2,750万円・一般会計予算 1,250万円））

（国の社会資本整備総合交付金 1,500万円を活用）

【事業の背景・目的】

燕市衛生センター（以下「衛生センター」という。）の老朽化に伴い、既存施設を更新する場合と、燕市下水終末処理場（以下「処理場」という。）へ新たにし尿等受入施設を整備し、し尿等と汚水を共同処理する場合について、事業費等の比較検討結果を踏まえ、処理場にて共同処理することにより衛生センターの整備費及び維持管理費の削減を図るものです。

【事業の内容】

本事業は処理場にし尿等受入施設を整備し、それに関連する処理場施設の改築や新設を行うものです。

令和8年度は将来的な人口減少を踏まえた施設規模の設定や、最適な処理方式の選定などについて検討し、し尿等受入施設と処理場施設の整備を合理的かつ一体的に進めるための基本計画を策定します。

●し尿等受入に伴う下水終末処理場整備基本計画策定業務委託

【事業全体スケジュール】

	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
下水道会計	下水道計画変更	全体計画	事業計画								
	反応タンク※1					※3 基本設計	※4 詳細設計	※4 工事			
	濃縮タンク※2					※3 基本設計	※4 詳細設計	※4 工事			
	基本計画 （し尿等受入関係）			交付金要望	基本計画						
一般会計	し尿等受入施設					※3 基本設計	※4 詳細設計	※4 工事			



※1.反応タンク：水中の汚れを微生物の力で分解・除去するための施設であり、し尿等受入に伴い改築更新が必要となります。

※2.濃縮タンク：汚泥を濃縮することで汚泥の体積を減らし、後の処理の負担を軽減するための施設であり、し尿等受入に伴い新たに整備が必要となります。

※3.基本設計：基本計画で整理した条件や方針に基づき、施設の構造、主要設備の仕様などを具体的に決定し、平面図、断面図等の作成など、概略的な設計を行います。

※4.詳細設計：基本設計に基づき、構造図などの詳細な図面の作成や、機器などの仕様書、数量計算書などを作成し、工事を発注するために必要な作業を行います。

●債務負担行為（第5条）

業務委託1件につきまして、**債務負担行為** を設定いたします。

公共下水道施設運転管理業務委託 …… 【令和9年度から令和11年度まで】 限度額は、 4億 4,781万 7千円

●企業債（第6条） 前年度比 2億2,719万4千円（11.4%）増

起債 の目的と限度額は、 公共下水道事業債 10億 9,920万円

前年度比 9,000万円（8.9%）増

資本費平準化債 5億円

前年度比 同額

借換債 6億 2,060万円 4千円

前年度比 1億3,719万4千円（28.4%）増

計 22億 1,980万円 4千円

●一時借入金（第7条） 前年度比 同額

一時借入金 の限度額は、 10億円

● 予定支出の各項の経費の金額の流用（第8条）

各項に計上した予定額に過不足を生じた場合 …… 同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

● 議会の議決を経なければ流用することのできない経費（第9条） 前年度比 1,130万2千円（8.9%）増

職員給与費 1 億 3,793 万 1 千円

● 他会計からの補助金（第10条） 前年度比 8,601万4千円（52.7%）減

下水道事業運営のため、補助を受ける金額は、7,721 万 7 千円（一般会計からの補助）

● 利益剰余金の処分（第11条） 前年度比 4,160万1千円（1158.2%）増

減債積立金 4,519 万 3 千円（当年度利益剰余金）

<参考>【令和7年度予算繰越事業（補正予算）】

本町排水区（合流）管路施設改築更新事業

【事業期間】 平成26年度 ～ 令和10年度

本町排水区における合流管路施設の老朽化による幹線下水道管の改修工事を行います。

令和7年度繰越予算額 **2億3,000万円**
(国の防災・安全交付金 1億500万円を活用)

【事業内容】

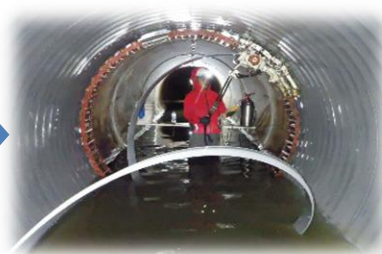
- 本町排水区（合流）管渠更生工事費（延長 379m）

事業費
2億3,000万円

— 管更生イメージ —



着手前



作業中



完成



本町排水区（合流区域）



<参考>下水道使用料の改定

令和8年5月分（6月請求分）から下水道使用料を段階的に引き上げます。

【下水道使用料改定の経緯】

令和7年3月に策定した燕市下水道事業経営改善戦略に基づき、将来にわたり下水道事業の健全かつ安定した経営を確保するため、令和7年9月議会において下水道使用料に関する燕市下水道条例の一部を改正しました。

【改定の内容】

令和8年5月分（6月請求分）として算定する使用料から現行比25%増、令和10年5月分（6月請求分）から現行比50%増とし、下水道使用者の急激な経済的負担増とならないよう段階的に引き上げます。

下水道使用料月額比較

（税抜）

改定後の1カ月あたりの使用料（イメージ）

一般家庭における1カ月あたりの標準的な使用料である20m³で計算すると改定後の1カ月あたりの使用料（税別）は下記のとおりです。

令和8年4月分まで 令和8年5月分から 令和10年5月分から

1,780円 ▶ 2,225円 ▶ 2,670円

適用時期と支払い時期について

年月	R8.3	R8.4	R8.5	R8.6～R10.3	R10.4	R10.5	R10.6～
算定 (検針)	現行使用料		一段階目の改定使用料			二段階目の改定使用料	
支払	現行使用料			一段階目の改定使用料			二段階目の改定使用料

区 分		単 位		現行	改定時期と改定使用料	
					一段階目	二段階目
				令和8年 4月分まで	令和8年 5月分から	令和10年 5月分から
水道 汚 水	基本料金	10㎡まで		820円	1,025円	1,230円
	従量料金 (1㎡につき)	一 般 汚 水	11～20㎡	96円	120円	144円
			21～50㎡	109円	136円	164円
			51～100㎡	119円	149円	179円
			101㎡～	132円	165円	198円
	公衆浴場汚水11㎡～		8円	10円	12円	
その他汚水		1㎡につき		41円	51円	62円

※特定環境保全公共下水道を除く区域